



瀬谷小だより

12月号

No. 8

平成30年11月30日
横浜市立瀬谷小学校

子供たちに宿る 無限の可能性

校長 倉岡 ナオミ

冷たい風の中で、校舎の裏の皇帝ダリアが美しい薄桃色の花を咲かせていました。その姿は、どのような環境の中でも、自分の精一杯の力を出し切ろうとする、凛とした佇まいでした。

あんなに暑かった日々も去り、今年のカレンダーも最後の一枚となりました。平成、最後の年末を迎えます。他校ではインフルエンザの情報も聞かれますが、本校では、おかげさまで、子供たちは寒さの中でも元気いっぱいの姿を見せています。これから、学習発表会などに向けての活動も始まるようです。

先日、地域ふれあい音楽会に参加させていただきました。幼稚園から高校までの子供たちが集まり、それぞれに素晴らしい発表をしてくれました。子供たちの健全な育成を図るために、学校、家庭、地域が連携していこうとする活動の一つですが、この会の運営に多くの方々力が貸して下さったことに改めて感謝申し上げます。

ここで、改めて、本校の合唱クラブ、ブラスバンドクラブの素晴らしさを感じるとともに、子供たちの力の凄さや可能性の大きさについて考えました。子供たちはこの瀬谷小に入学し、合唱やブラスバンドに興味をもって活動に参加したことで、素晴らしい力を身に付けました。新しい自分の可能性を広げたと言えます。もちろん、ここに至るまでに、眠い中での朝の練習や遊びたい中での放課後や休日の練習など、大変なこともあったと思いますし、相当な努力が必要だったことでしょう。しかし、楽な道ではなく、大変な、厳しい練習を選び取ったことで、これからにつながる技術や能力を手に入れることができました。

子供たちは本当に無限の可能性をもっています。音楽に限らず、それぞれが素晴らしい種子をもっています。これからの自身の努力によって、その種子を発芽させ大きく育てていくことでしょう。それがいつ花開くのかはわかりませんが、とても楽しくわくわくします。それぞれに与えられている時間は限られています。それを、どう有効に使うかによって結果は変わってくるのです。私たち大人にできるのは、栄養や水となる、機会をとらえたプラスの声かけや指導、アドバイスなどでしょうか。大人の考えだけで一定の方向に誘引したとしても、きっと不適合を起こすでしょうし、外敵から守るための壁で囲って育てても弱々しいものになってしまうでしょう。たとえどんな環境にいようと、自分でしっかりと大地に根を張り、風雨に耐え、誇らしげに自分の花を咲かせる。そんな育ちを精一杯応援したいと思います。

